第2学年　道徳科学習指導案

１　主題名　あんぜんに　くらす　ために＜Ａ－３　節度、節制＞

２　教材名　「あぶないよ」（出典　日本文教出版「生きる力」）

３　学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 教師の支援 |
| つ  か  む  ５  深  め  る  ３０  見  つ  め  る  １０ | １　日常の生活を振り返る。  　危ないなと思うのは、どんなときですか。  ・みちをわたるとき。  ・道をわたるとき  ・しらない人がちかくにきたとき  あんぜんにくらすには　どうしたらいいかな      　２　教材「あぶないよ」を読んで考え、話し合う。  　①1枚目の絵の男の人は、良い人に見えるかな、悪い人に見えるかな。  　②知らない人なのに、ついていってしまうのはどうしてかな。  ・ちゃんとした服を着ているからいい人に見える。  ・悪い人かもしれない。  ・見かけだけではわからない。  ・いい人に見えたから。  ・優しい人に見えたから  ・丁寧な言葉でしゃべっているからちゃんとした人だと思った。  ・困っていたから助けたいと思った。    ③　「はい。」と言ったぼくに　たりなかったものは　何でしょう  ・見た目だけで信じちゃったこと。  ・優しそうだから信じたこと。  ・悪い人かもって思わなかったこと。  ３　学習の振り返りをする。  　　あんぜんに　くらすために　たいせつにしたい　考えを　書きましょう。  ・見た目だけで決めないで、よく考える。  ・知らない人にはついていかない。  ・約束を守る。 | ・危険なことは、誰にでも起こりうることに気づけるよう、様々な場面を想起する声かけをする。  ・服装や髪形に着目できるように、人物を拡大したものを用意する。  ・見た目で判断し、信用してしまう自分自身に気づけるよう、良い人に見えるか悪い人に見えるかを問いかけ、そう判断した根拠を考えるよう促す。  ・全員が自分の考えをもてるよう、グループで話し合った後、全体での話し合いをする。  ・見た目だけで信じてはいけないと考えられるよう、「見た目でよい人か悪い人かわからないのに、きちんとしていると、みんなも信じてしまうか？」と問いかける。  ○きちんとした服装や言葉遣いだと悪い人と思いにくくなることに気づけるように板書を工夫する。  ・「外見で判断したことがよくなかった。」という考えがもてるよう、道徳ノートに意見を書く時間を確保する。  ・「たりなかった」という表現が分からない児童には「何が間違っていたのか」という問いかけをする。  ・誘拐ばかりでなく、身の回りの様々な危険についても考えられるよう、１で出た意見をとりあげる。  ・道徳ノートに書く場面では、一人一人が、今後の自分のあり方を考えられるように、書く視点を提示する。 |